

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 事業名 | ①事業概要 ②交付対象者 | 事業始期 | 事業終期 | 事業費(円) | うち交付金 (円) | 事業実績 | 効果(成果) |
|-------------------------|--|-------|-------|-----------|--------------|--|--|
| 役場庁舎の分散体制整備事業 | ①業務の分散化を図り感染リスクを軽減するため、会議室と旧森林組合事務所を業務可能な空間となるよう整備を行う。 ②机、椅子の購入経費や通信環境の整備工事、空調設備工事に充当する。 | R3.7 | R3.12 | 5,136,420 | 5,136,420 | 椅子65脚、机28台の購入 空調整備、電話配線、LAN配線、リフォーム工事を行った | これまで執務で使用していなかった部屋を執務可能な部屋に整備したことで、3密を避け分散して業務を行える空間を確保することができた |
| 基準日以降誕生新生児の特別定額給付金給付事業B | ①令和2年度に実施された特別定額給付金について、令和3年4月1日以降、令和4年3月31日までに生まれた新生児に対し、1人につき10万円を給付するもの。 ②給付金の支給に対し充当 | R3.4 | R4.3 | 2,200,000 | 2,200,000 | R3/4/1以降に生まれた新生児22人に対し1人10万円の給付金を給付した | コロナ禍において、感染予防対策等で出費が増加する子育て費用を支援することができた |
| こどもの夢(スポーツ)継続活性化事業 | ①コロナ禍の自粛期間によるスポーツ離れを解消するため、村内児童生徒を対象にスポーツ能力測定会及び元・現役オリンピックなどのトップアスリートの講演を実施し、本村のスポーツ人口の増加及び社会体育の振興を図る。また、本村総合型地域スポーツクラブや体育協会等と連携し、本村児童生徒への継続的なスポーツ実施へのアプローチを行っていくもの。 ②子どもそれぞれの運動能力にあったスポーツを探すためのスポーツ能力測定会の開催に関する費用に充当 | R3.8 | R4.2 | 2,948,000 | 2,948,000 | 柔道家の篠原信一さんによる講演やスポーツ交流を小中学生を対象に実施した | コロナ禍の自粛生活で運動をする機会を失った子供たちが本事業への参加によりスポーツの楽しさや自分にあったスポーツを発見できたことで、児童生徒の運動能力の向上に寄与することができた |
| 公共施設における避難所機能強化事業 | ①万江地域に存在する公共施設を安心安全な避難所として機能を強化し、3密を避けた空間を確保するため整備する。 ②集会施設の避難所機能強化整備に充当 | R3.7 | R4.3 | 8,590,984 | 8,590,984 | 避難所として改修する建物の設計を行った 避難所に空調設備を導入した | 避難者が集中し3密にならないよう、避難所として使用できる施設を増やすための整備を進めることができた |
| 福祉避難施設の屋外洗濯場設置事業 | ①災害発生時に避難所として活用される福祉施設において、クラスター発生防止のため屋外に洗濯スペースを確保し、衛生環境の向上を図る。 ②洗濯機2台(内1台購入)を設置できる屋根・壁を確保するための工事。 費用に充当 | R4.3 | R4.3 | 1,083,500 | 1,083,500 | 避難所の屋外に洗濯スペースを整備した | 避難所の屋外に洗濯スペースを設置したことにより、避難生活において感染防止を図り衛生環境を確保できる避難所を整備することができた |
| 飲食店に対する営業時間短縮要請協力金負担金 | ①5月18日から時短要請に応じた飲食店に対する協力金の一部を負担する ②協力金の1割を負担 | R3.4 | R4.3 | 208,000 | 208,000 | 時短要請に応じた飲食店への協力金を一部負担した | 感染リスクが高まる夜間における会食の機械や人流を抑制することにより感染拡大防止に寄与するとともに、要請等に協力したことにより経済的影響を受けた事業者を支援した |
| 消防組合新型コロナウイルス感染症対策負担金 | ①消防組合の感染防止対策 消毒液や救急ガウンなど感染防止に必要な物品を整備し、感染拡大防止を図る。 ②物資購入に必要な経費を管内6市町村で分担して負担する。 | R3.4 | R3.11 | 228,000 | 228,000 | 消防組合の感染防止対策の経費を一部負担した | 消防組合の感染対策物品を整備したことにより消防活動における感染拡大防止に寄与することができた |
| 行政手続きのオンライン化に向けた例規整備事業 | ①新型コロナウイルス感染症の蔓延防止、行政サービスの効率的・効果的な提供にも資するものとして、行政手続等における書面規制、押印、対面規制の見直し及びオンライン化を実現するため、本村条例や規則等の例規整備を行う。 ②書面規制、押印、対面規制の見直し支援業務委託、行政手続整備更新業務に充当する。 | R3.10 | R4.3 | 4,180,000 | 4,180,000 | 行政手続きのオンライン化に向けて条例や規則の押印見直しなど例規整備を行った | 行政手続きにおける押印の見直し等により手続き時の対面時間の短縮を図り感染リスクの減少に寄与することができた |
| WEB会議室整備によるデジタル化推進事業 | ①コロナ禍で会議参加に制限がある庁外の専門家や有識者、住民等との意見交換の場としてや、会場でのICTの利用促進を促す。 ②空間の広い会議室でのWEB会議や、ICTを活用し情報共有を行う際に対応できるプロジェクター及びスクリーンの購入経費や環境整備費に充当。 | R3.12 | R4.3 | 2,970,000 | 2,970,000 | 2か所の会議室にプロジェクターとスクリーンの整備を行った | オンライン会議等で利用できる環境を整備したことで、会議にオンラインで参加や開催できるようになり、感染リスクを低減することができた |
| 薪ストーブ設置事業 | ①コロナ終息後の本村への来訪者や移住者の増加を目的として、都市在住者に田舎暮らしの良さを発見してもらうために、薪ストーブを設置する。 ②薪ストーブ設置工事に充当する。 | R4.2 | R4.3 | 2,256,100 | 2,256,100 | 交流の拠点となる施設に薪ストーブを設置した | 薪ストーブの設置により、移住者の増加へ向けたアピールポイントとして田舎暮らしの良さを伝える施設を整備することができた |
| コロナ禍イベント用検温等機器整備事業 | ①イベント会場への来場者(複数人)を一度に素早く検温・測定することで、会場への入退場門における人の滞留を防止する。また、検温時の来場者と検温するスタッフとの距離を一定以上保つことで感染防止を図る。加えて、検温スタッフの人数を抑え、会場内での密を避けることへつなげる。 ②サーモグラフィカメラ3台購入、インカム5台購入に充当 | R3.9 | R3.11 | 2,312,702 | 2,312,702 | サーモグラフィカメラ3台、インカム5台を購入した | サーモグラフィカメラやインカムを活用し感染防止対策を図ったことにより、コロナ禍においても安心して来場できるイベントを開催することができた |

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 事業名 | ①事業概要 ②交付対象者 | 事業始期 | 事業終期 | 事業費(円) | うち交付金 (円) | 事業実績 | 効果(成果) |
|------------------------|---|-------|-------|------------|--------------|--|--|
| オンライン会議環境整備事業 | ① 感染リスクを軽減し、行政サービス低下を防ぐため、会議室におけるオンライン会議の環境整備を図る。 ② オンライン会議用PC、映像投影機器費用に充当 | R3.10 | R3.12 | 434,390 | 434,390 | オンライン会議用PC1台、プロジェクター1台を購入した | オンライン会議等で利用できる環境を整備したことで、会議にオンラインで参加や開催できるようになり、感染リスクを低減することができた |
| 公衆浴場給水設備改修事業 | ① コロナ終息後に観光客等の温泉利用者の増加を見込まれるため、増加した温泉利用者に対応できるよう温泉施設の機能強化を図り施設の改修を行う。 ② トイレや水風呂用の給水設備の改修費用に充当。 | R3.12 | R4.3 | 7,788,000 | 7,788,000 | 新たに井戸を掘削し温泉施設へ接続した | 温泉施設の給水設備の機能強化を行い、感染対策で増える手洗いや洗浄等やコロナ終息後に温泉施設利用者の増加にも対応できる環境を整えることができた |
| 中学校テレワーク環境整備(システム改修)事業 | ①現在活用している成績処理システムを改修することにより、テレワークによる業務処理が可能となる。3密を回避し、職員の学校滞在時間を減らすことで感染リスクを軽減する。 ②校務管理システムの改修費用に充当する。 | R3.12 | R4.1 | 1,012,000 | 1,012,000 | テレワーク可能な校務管理システムを整備した | 中学校で使用する校務管理システムを改修したことで、教職員がテレワークによる業務処理を行うことが可能となり感染拡大防止に寄与することができた |
| 新型コロナ対策分散業務環境整備事業 | ①新型コロナ感染予防対策として、分散して業務できるよう研修室を整備するもの。テーブルや椅子を設置し、業務ができるよう事務的機能を持たせる。 ②研修室の環境整備費に充当する | R3.10 | R3.12 | 490,633 | 490,633 | 机、椅子、ホワイトボード、パーテーションを購入し執務可能な環境を整備した | 業務可能な部屋を整備したことで、感染拡大時期においても分散して業務を行える環境を確保することができた |
| 新型コロナ対策教職員分散業務環境整備事業 | ①今年度から本格的に始まった新しい中学校学習指導要領では、授業における生徒の効果的なICT活用の重要性が述べられており、授業で活用する提示資料や生徒会活動で使用する資料を生徒の端末から印刷する。また、学習内容を確実に定着させるために教師による課題資料や授業資料を職員室の印刷機で印刷したりしている。そのため、生徒用の端末から印刷できるプリンターを各教室に配備することで、印刷作業の分散化を図り、感染リスクを軽減する。 ② 備品購入費に充当する。 | R3.10 | R3.11 | 330,000 | 330,000 | プリンターを購入し中学校の各教室に配備した | プリンターを各教室に配備したことにより、生徒や教職員が各自の端末から印刷を行う際に各教室のプリンターを使用することで感染リスクを軽減できる学習環境を確保することができた |
| プレミアム商品券発行事業 | ① プレミアム商品券を発行し、地域住民の消費喚起と村内事業所の経済活性化対策支援を図る。 ② プレミアム率30%の商品券事業に係る経費に充当 | R4.1 | R4.3 | 6,305,064 | 6,305,064 | 1冊10,000円の商品券(1,000円×13枚綴り)を2,000冊発行した | 村内でプレミアム商品券が使用されることで地域内での消費喚起を促し、コロナ禍で疲弊した地域経済を活性化することができた |
| 社会体育施設における避難所機能強化事業 | ① 社会体育施設が指定避難所となっていることから空調設備の整備し、3密を避けた安全な避難生活空間を確保する。 ② 空調設備整備に関わる経費 | R3.11 | R4.3 | 40,717,600 | 40,691,110 | 指定避難所に指定してある山江村体育館へ空調設備を整備した | 体育館に空調設備を整備したことにより、コロナ禍において避難が必要となった際に、空間が広く3密を回避でき安全な避難生活空間を確保することができた |
| コロナ禍における村内介護予防事業等推進事業 | ①緊急事態宣言も解かれ、介護予防事業が今後活発に行われることに合わせて、既に参加されている高齢者の負担軽減と新規参加者を獲得するため、令和3年度中のすべての参加者に対し、参加奨励金を給付し、事業参加者の裾野を広げ地域内高齢者等の健康づくりを推進する。 ②通いの場事業やサロン事業等、村が指定する事業へ参加される方に対し、事業参加交通費、事業参加費に充てるため、一律一人当たり5,000円を給付し、その経費に充当する。 | R3.4 | R4.3 | 1,705,000 | 1,705,000 | 介護予防事業の参加者341人に対し1人当たり5,000円を給付した | 本事業により以前から介護予防事業に参加していた高齢者に加え新規で参加するきっかけともなり、コロナ感染への警戒から引きこもりがちになっていた高齢者の健康づくりや地域の活性化に寄与することができた |
| 地域公共交通運行継続支援 | ①新型コロナウイルスの影響を受けて、活動自粛要請により利用が大きく制限され、運行に大きな影響を受けた3セク鉄道事業者に対し、圏域自治体が支援金を給付し、安定的な事業が維持できるよう支援する。 ②管内10自治体が分担して行う支援金事業のうち、山江村分負担金に充当 | R4.2 | R4.2 | 91,000 | 91,000 | 地域公共交通事業者への支援金を一部負担した | 支援金を交付することで地域公共交通事業者の運営を支援することができた |
| 水稲生産継続支援対策事業 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により、外食需要が大きく減少し、米の需要が急速に減退したことから米価が下落している。農業収入が減少した農業者等に対し、支援金を給付することにより、次年度以降も水稲栽培を継続できるよう支援する。 ②支援金(10a当たり10,000円)、事務費 | R4.2 | R4.3 | 9,453,462 | 9,453,462 | 水稲生産者に対し10a当たり10,000円を支給した | コロナ禍により影響を受けた水稲生産者に対し10a当たり10,000円を支給することで、水稲栽培を継続するための支援ができた |

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

| 事業名 | ①事業概要 ②交付対象者 | 事業始期 | 事業終期 | 事業費(円) | うち交付金 (円) | 事業実績 | 効果(成果) |
|--------------------------|---|-------|------|-------------|--------------|---|--|
| 水稲生産継続支援対策事業 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により、 外食需要が大きく減少し、米の需要が急速に 減退したことから米価が下落している。農業 収入が減少した農業者等に対し、支援金を給 付することにより、次年度以降も水稲栽培を 継続できるよう支援する。 ②支援金(10a当たり10,000円)、事務費 | R4.2 | R4.3 | 2,288,000 | 2,288,000 | 水稲生産者に対し10a当たり10,000 円を支給した | コロナ禍により影響を受けた水稲 生産者に対し10a当たり10,000円 を支給することで、水稲栽培を継 続するための支援ができた |
| 公立学校情報機器(教 職員用)購入事業 | ①現在使用している校務用PCは職員室から 持ち出せない仕様となっている。そこで、業 務の分散化及びテレワーク等の推進を図り感 染リスクを軽減するため、無線LANやWebカ メラが搭載された携帯可能な新たな校務用PC を購入するもの。 ②校務用PCの購入費用に充当。 | R3.12 | R4.2 | 6,036,800 | 6,036,800 | 教職員のテレワーク用PC40台を 購入した | テレワーク用PCの導入により、 新型コロナウイルス感染症の感染 拡大時等に在宅で勤務が可能とな り、学校内での感染リスクを軽減 し、児童生徒の学習機会を確保す ることができた |
| 子育て世帯への臨時特 別給付金追加給付事業 | ①子育て世帯への臨時特別給付金事業におい て、所得制限を超過している世帯の児童・生 徒に対し、コロナ禍における生活への影響を 鑑みて、子育て世帯への臨時特別給付金を給 付し、生活を安定させる。 ②所得制限超過受給者に児童・生徒1人当 たり100,000円を支給 | R3.12 | R4.3 | 500,000 | 500,000 | 子育て世帯への臨時特別給付金の所 得制限超過受給者へ給付金を支給し た | コロナ禍において、感染予防対策 等で出費が増加する子育て費用を 支援することができた |
| 新型コロナウイルス感染 症の早期検査事業 | ①新型コロナウイルス感染症の抗原検査キ ットを感染の心配がある方に配布し使用して もらう。自身の感染状況を把握してもらうこと で感染拡大防止を図り、地域住民が安心して 生活できる環境を作る。 ②抗原検査キットの購入 | R4.1 | R4.2 | 861,520 | 861,520 | 抗原検査キット979セットを購入し た | 抗原検査キットを確保し、必要な 方が使用し自身の感染状況を把握 できる体制を整備したことで住民 が安心して生活できる環境を確保 することができた |
| 安心安全な学び環境確 保事業 | ①消毒液やアクリルパーテーション等を使用 する感染対策を行うことにより、感染リスク を軽減させる。 ②消毒液や抗原検査キット等の消耗品購入費 に充当 | R4.2 | R4.2 | 447,315 | 447,315 | 抗原検査キット、消毒液、ハンド ソープを購入した | 小中学校へ感染対策物品の設置等 を行うことで、感染リスクを低減 させ、児童生徒が安心して学習で きる環境を整備することができた |
| 合計 | | | | 110,574,490 | 110,548,000 | | |